



自分らしく生きる



2月16日(金)大阪府福祉指導センターで、大阪府委託の主任児童委員研修会があり、主任児童委員10人が参加しました。当日のテーマは「子どもの多様な性について理解を深める」で、性別に違和感がある子どもたちの現状を知るとともに、そういった子どもたちがありのまま自分らしく生きていくために何ができるのかを考え、理解を深めることを目的としています。

講師の井上鈴佳氏は中学校や高等学校の元保健室の先生で、自身が4年前に性的少数者であることに気付いたということです。

前半は、講師の体験を織り交ぜながら、LGBTの基礎的知識、LGBTの子どもの現状や関わり方が話されました。後半は、主任児童委員としてできることをグループに分かれて話し合いました。

3月からLGBTを題材にしたドラマがBS放送で放送されています。

早期発見が大事



2月21日(水)キックス4階イベントホールで、高齢者部会の研修会・交流会が実施され、高齢者部員37人と地域包括支援センター職員6人が参加しました。講師は本市認知症地域支援推進員山戸江利香氏で、テーマは「認知症とうまくつき合っていこう!地域で支える認知症」でした。今回の研修は、認知症の人を支えるための実践的な支援を共有することを目的としています。

最初に、認知症の早期発見の重要性、国の施策と市の支援体制などが話されました。休憩を挟んで、寸劇を見て認知症をもっと理解して声かけする時のポイントを7つのグループで話し合いました。

また、徘徊している人に街角で声をかけるロールプレイを行いました。当事者を体験した人からは、「突然声をかけられて驚いた」「あれこれ質問され不審に感じた」と感想があり、声掛けの時に配慮すべきことについて体験を通して学びました。午後の交流会では、普段関わりのない別の地域のメンバーで構成されたグループにて午前中の研修の内容を振り返り、各地区の取り組みや課題について共有しました。

あそぼう! まなぼう! たのしもう!

2月27日(火)児童部会35人は、見学研修で堺市にある、大阪府立大型児童館ビッグバンを訪問しました。この施設は平成11年に開館し、初代館長には「銀河鉄道999」で知られる漫画家松本零士が就任しました。府民一人ひとりが、子どもの健全育成における「遊び」の重要性を認識する必要があるため、児童福祉や児童文化関係諸施設の中心的存在となる中核施設がつけられました。さらに、児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的として、中核拠点として整備されました。

